

■ アンケート記述内容について

◆保護者の皆様に記述していただいた内容をまとめました。内容が似ている分については、集約しております。

(1) 教育目標について

- ・学校便りなどで学校の教育目標がわかりやすく伝えられている。よく伝えてもらい感謝している。
- ・学校便りで自分の子ども以外の子の活動もよくわかる。毎月必ず目を通してしている。
- ・よく知らない。
- ・家庭でどのように学習を進めていけばよいのか等書いてあればなおよい。
- ・学校のホームページをときどきみるが、更新が遅れている。学年によって掲載量にばらつきがある。

☞ 学校の教育目標については、5月の学校便りやPTA総会、夏の地区懇談会で説明してきました。また、学年や学級の目標や子どもたちの様子などについては、学年や学級便りで、できるだけお伝えするように努めてきました。学校ホームページの更新については、推進できるように努めます。また、学校の状況等がもっとわかりやすく伝わるように学校便り、学年（学級）便りの工夫に努力します。

(2) 開かれた学校づくりについて(授業参観・学校行事への参加 等)

- ・いつも楽しくおもしろく学校行事に参加させてもらっている。
- ・学校行事に参加することで子どもたちの学校での様子がわかる。また、子どもも喜ぶ。
- ・PTA活動を通して学校のことを知る機会が増えたのでこれからも参加していきたい。
- ・授業参観にいくと子どもが喜ぶので参加するようにしている。
- ・参観して、自分自身も子どもと一っしょに勉強できた。
- ・授業参観は仕事でいつも行けるわけではないが、祖父母の協力を得てできるだけ参加するようにしている。
- ・授業参観には参加したいが、仕事の都合で参加できないことが多い。なるべく参加するように努力している。
- ・仕事の関係で月に1度の授業参観になかなか参加できない。
- ・子どもが小学校に入る前は、観に行きたいと思ってもやはり敷居が高かった。



☞ 多くの皆様に授業参観等へ参加をいただき、ありがとうございました。もっと多くの皆様が参加しやすいようにとの思いから、今年度から毎回「フリー参観日」として設定いたしました。おかげさまで、会を追うごとに地域の皆様の参加をいただけるようになりました。また、授業参観日は、できる限り曜日等が重ならないようにバランスよく計画したいと思います。保護者の皆様には、お仕事の都合もありますので、可能な範囲での参加をお願いします。学校と家庭との連携を深めていきたいと考えています。PTA活動は、「むりなく・みんなで・分け合って」を合い言葉に全員参画で行っています。可能な限りで結構ですので、ご協力をお願いしています。

児童の安全確保のために、防犯ステッカーの掲示及び来校の際に事務室で受付をして頂いております。ご協力ありがとうございます。今後ともご協力をお願いします。

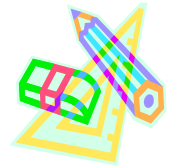
(3) 確かな学力について－1(家庭学習：宿題)

- ・子どもが宿題をしている時に、どんな勉強をしているのかのぞいてみるようにしている。
- ・家庭で「自学」をしているので、よく机に向かうようになった。
- ・親が、宿題の見直しをするように努めている。
- ・内容によっては、何も言わなくても2時間ぐらいすることもある。
- ・先生方の指導のおかげで宿題はちゃんとしている。
- ・宿題は自分からさっさと済ませている。わからない時には教えている。勉強中は集中している。
- ・わからないとすぐに聞いてくるので、教科書を見ながら自分でするように声かけをしている。
- ・少しずつ成果が出てきているような気がするが、もう少し基礎学力の定着に力を入れてほしい。
- ・遊びやテレビに夢中になりなかなか家庭学習ができていない。
- ・家庭では声かけはするがなかなか自主的に学習をしない。集中して学習に取り組ませたいと思っている。
- ・宿題に結構時間がかかっている。どうすれば集中して勉強をしてくれるのか考える。
- ・授業があまり理解できていないらしく、一人では宿題ができない。今学習しているところがやっと理解できたかと思うと、次の学習が始まるという状態。子どもが、先生の言っていることがわからないということもよくある。
- ・宿題をするのにやみくもに時間がかかっている状況があり、家庭学習は時間だけでは評価しづらい。

☞子どもたちの学力は、学校だけで高めることはできません。学校と家庭が連携し、子どもたちのやる気を高める学習習慣をつけることが重要です。このアンケートからも、家庭で勉強させたいがなかなか難しいと感じられている保護者の姿が見えてきました。そこで、学校では「家庭学習(宿題)のすすめ」というパンフレットを作成しました。ぜひ、目につくところに置かれ、家庭学習の指針として活用していただくようにお願いします。

(4) 確かな学力について－2(家庭での読書)

- ・読み聞かせのおかげで本の楽しさを知ることができていると思う。ありがとうございます。
- ・家庭でも進んで読書をするようになってきた。
- ・親子読書や読書カレンダーのおかげで、意識して取り組むことができている。
- ・図書室はあまり行かないが、図書館を利用している。
- ・読書よりテレビを見ることが多い。もっと読書をさせ、読書の習慣をつけさせたいが・・・なかなか難しい。
- ・親子読書への取組の意識はあるがなかなか一緒に時間を共有できない。大事な時間を作っていきたい。
- ・子どもが読書をしないのをそのままにしているので反省している。
- ・習い事に時間をとられてなかなか時間を作れない。
- ・宿題をするのに精一杯で読書をする余裕がない。
- ・本を買っても家庭ではなかなか読もうとしない。家庭でも読書の時間をもっと取りたいと思う。
- ・図書室からなかなか本を借りてこないの、買って与えることもある。
- ・親も含めて読書の習慣がついていないのが実状。
- ・家で読書をしている姿をあまり見ない。



☞学校では「朝の読書」に全ての児童が取り組んでおり、子どもたちの好きな時間として定着してきています。また、学校生活においても進んで読書活動を行っています。しかし、それが家庭での読書習慣にはまだ十分つながってはいないことがこのアンケート結果からうかがえました。本への興味・関心に個人差もあるようです。そこで、今年度はPTAとの連携により「ノーテレビ・ノーゲームデー」と合わせて「ファミリー読書」に取り組みました。3月1日も含めてまだ2回だけの実施ですが、保護者の皆様からよい取組であるとの評価をいただきました。来年度は、家族のふれあいも含めた「ファミリー読書」の取組を広げていきたいと思います。

(5) 心の教育について(子どもとのふれあいを通した思いやりの心の醸成)

- ・家庭でもなるべく会話をするようにしている。こちらから子どもの話をできるだけ聞くようにしている。
- ・いっしょに料理をしたりして、なるべく会話をするように心がけている。
- ・子どもの話にはきちんと耳を傾けるようにしている。
- ・食事の時や入浴の時にいろいろ話すようにしている。
- ・子どもを常に認めるようにしている。
- ・夜は家族全員で食卓につき、学校の話で盛り上がる。食後の片付けもいっしょにする。
- ・自分から進んで手伝いをするようになってきた。その都度「ありがとう」を子どもに伝えるようにしている。伝えることで子どもも家族の役に立っているという喜びがあるようだ。
- ・小学校に入ったころから家族の一員として家の手伝いを1つ以上させている。
- ・手伝いは毎日させるようにしている。
- ・手伝いをあまりさせていないので、これからは心がけてさせていく。
- ・中原小の道徳の時間にはとても感心している。今後どのように進められるのか注目している。
- ・朝夕見守ってくださるボランティアの方にはあいさつするように言い聞かせている。
- ・相手を思いやることの大切さを教えているが、動物など自分より弱いものへの接し方があまりよくできない。
- ・会話はするが手伝いはしたがない。



☞道徳の授業公開は家庭での話題提供にもなっているので、今後も授業参観日の公開を継続していきます。道徳の時間の学習でも「思いやり」の心の醸成に努めてまいります。

家庭では、子どもとのコミュニケーションを積極的に図ろうとされている保護者の皆さんの姿を見ることができます。今後も子どもとの会話を通して、よりよいふれあいができていくことを期待します。

(6) 生徒指導について(家庭や地域でのあいさつ)

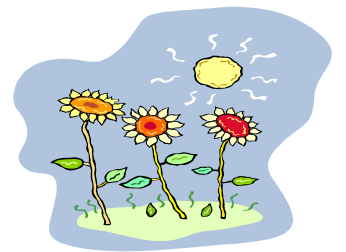
- ・大人が気をつけてあいさつするようにしていけば子どもたちもきっとできるようになると思う。
- ・あいさつは、まずは大人からだと思う。自分からできるようになるのを待つのも大事なかなと思う。
- ・親が手本となり気持ちよくあいさつができるようにしていきたい。
- ・近所の人に会ったら必ずあいさつをなささいと言っている。
- ・あいさつだけは厳しく躰けている。親が見本になるように心がけている。
- ・近所の人にも進んであいさつできるようになってきた。
- ・道で会う子どもたちからいつも元気なあいさつをもらう。
- ・あいさつはしてくれますが、朝でも「こんにちは」というのはどうでしょうか。
- ・数年前と比べて元気よくあいさつをする子が減った。こちらから声をかけても返ってこないことが多い。
- ・登下校の際のあいさつをする子としない子の差が大きい。(スクールサポーター活動の際の感想)
- ・地域では自分からあいさつをする子が少ない。
- ・朝の交通安全指導に立っていても子どもからのあいさつをなかなか聞けない。
- ・大きな声で元気よいあいさつがまだできていない。
- ・恥ずかしいと言ってなかなかあいさつをしようとしな。学校を訪問してもする子、しない子の差が大きい。
- ・家に遊びに来る子どもの友だちの中には、あいさつや礼儀の基本ができていない子も多い。自然に出てきてほしい言葉がないと悲しい。
- ・友だち同士の言葉遣いが悪い。男女とも呼び捨てにしている。

☞ 子どもたちには、学級や学年での朝会や登校班長会、職員による登校指導などいろいろな場面で折に触れあいさつの指導を行っています。また、週1回の全職員による生徒指導連絡会で反省会をもち、指導に生かせるよう情報交換をしています。少しずつですが子どもたちの意識も高まりつつあると感じていましたが、学校外ではまだまだのようです。

今後は、学校外でも進んであいさつができるように指導をしていきたいと思います。あいさつは学校だけで身につけられる力ではありませんので、今後ご家庭や地域と連携を図りながら、元気にあいさつができる子を育てたいと思います。ご家庭でも引き続き励ましの声かけをお願いします。

(7) 保健指導について(学校での取組、家庭での「早寝・早起き・朝ごはん」)

- ・学校での取組のおかげで子ども自身に「早寝・早起き・朝ごはん」の自覚が出てきた。親の方が子どもに注意されることもある。
- ・子どもは、どんなことがあってもしっかり朝ごはんは食べて行く。
- ・朝はしっかり味噌汁とご飯を食べさせるようにしている。
- ・子どもは早寝・早起きが苦手だが、朝食だけは必ず食べさせている。
- ・朝のスムーズなスタートのために、前日に明日の準備を済ませるよう親子で約束をしている。
- ・9時に寝かせ、6時半には起こすリズムを作っている。
- ・テレビを見ていてついつい寝るのが遅くなる。
- ・大人といっしょに起きていたいようで、つい夜が遅くなる。
- ・子どもは、冬はなかなか起きられない。
- ・家庭で努力はしている。親子でいっしょに取り組むことが大事。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」については、心がけてはいるがなかなか成果が出ない。
- ・インフルエンザ予防のため、帰宅後の手洗いやうがい気をつけるようになった。
- ・学校では健康についての取組はなされているが、体力を身につけさせる取組についてはよくわからない。



☞ 「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さは保護者の方々にも浸透し、児童の生活リズムができてきているおかげで、学校で元気に遊んだり、集中して学習に臨んだりしています。特に朝ごはんは、午前中の学習のエネルギー源です。これからもしっかり食べて登校できるようによろしく願いいたします。気になる児童には、生活の様子を聞き、その改善に向け助言をしています。今後も児童の生活リズムや体力向上について、家庭と連携を図りながら指導を行いたいと思います。

(8) 校内の環境美化, 家庭での整理整頓について

- ・進んで掃除したり, 上級生の掃除のやり方を見て学ぶのはとても良い。
- ・縦割りのおかげで, 上級生や下級生とのふれあいができてよい。家での整理整頓については, これからの課題。
- ・縦割り掃除は, 学年を問わずに顔見知りができとてもよいと思う。
- ・子どもに任せていると徹底しないので, 整理整頓は親子でするようにしている。
- ・自分の部屋は自分で片付けさせるようにしている。どんなに散らかっていても手出しをしない。
- ・言わないとしないのでいつもは言いたくないから休日にさせる。
- ・整理整頓の大切さを毎日のように言っているが, 片づけがよくできていない。
- ・はたらきかけをしてはいるが, 子どもに伝わっているかどうか不安。なかなか身につかない。
- ・片付けについては, つい親が先に手を出してしまうので気をつけたい。

☞ 縦割り掃除については, 学年が異なるため, 掃除を進める上で難しさもあります。しかし, それよりも異学年間の交流のよさを高く評価していただいていることをうれしく思います。上級生も下級生もそれぞれの役割をきちんと持たせ, ご家庭でのお手伝いや掃除等に縦割り活動で身につけた力を少しでも発揮できたらと思います。他に, 縦割り班での給食や遊びは子どもたちに好評でした。

(9) 学習環境の改善充実について(基本的な生活習慣や学習習慣)

- ・基本的な生活習慣は, 学校というより家庭が大事。
- ・学校ではできていても, 学童や家では気持ちが緩んでできていない時が多い。
- ・生活習慣は身につけてきたが学習習慣はなかなか身につかない。
- ・なかなか学習習慣が身につかない。
- ・あいさつ(頭を下げる)は, 昔のように愛のムチをされていない分甘く考えている。
- ・基本的な生活習慣については改善が必要だと感じている。

☞ 本年度も, 基本的な生活習慣及び学習習慣をともに高めることが, 学力を向上させると考えて取り組んできました。小学校生活の基礎となる低学年では, 学校と家庭において学習習慣や生活習慣の定着をめざして, チェック表を作成して取り組みました。その中で, ご家庭の方でもたくさんの声かけをしていただいていることがわかりました。

また, 上記「(3) 確かな学力ー1(家庭学習:宿題)」でも触れましたように, 学力向上のためには基本的な学習習慣の定着が不可欠の要素です。まずは, その日に学習した内容を家庭で復習する宿題をきちんと済ませることが大事です。ご家庭にお配りしている「家庭学習(宿題)のすすめ」には, 学年に応じた家庭学習の基本的な進め方を示しています。ぜひ, 親子でしっかり確認していただきたいと思います。

今後も, 子どもたちの生き生きとした生活のために, 学校と家庭が手を携えて子どもの教育を進めてまいります。

今年度も多くの皆様からアンケートの回答をいただきました。

ご協力ありがとうございました。